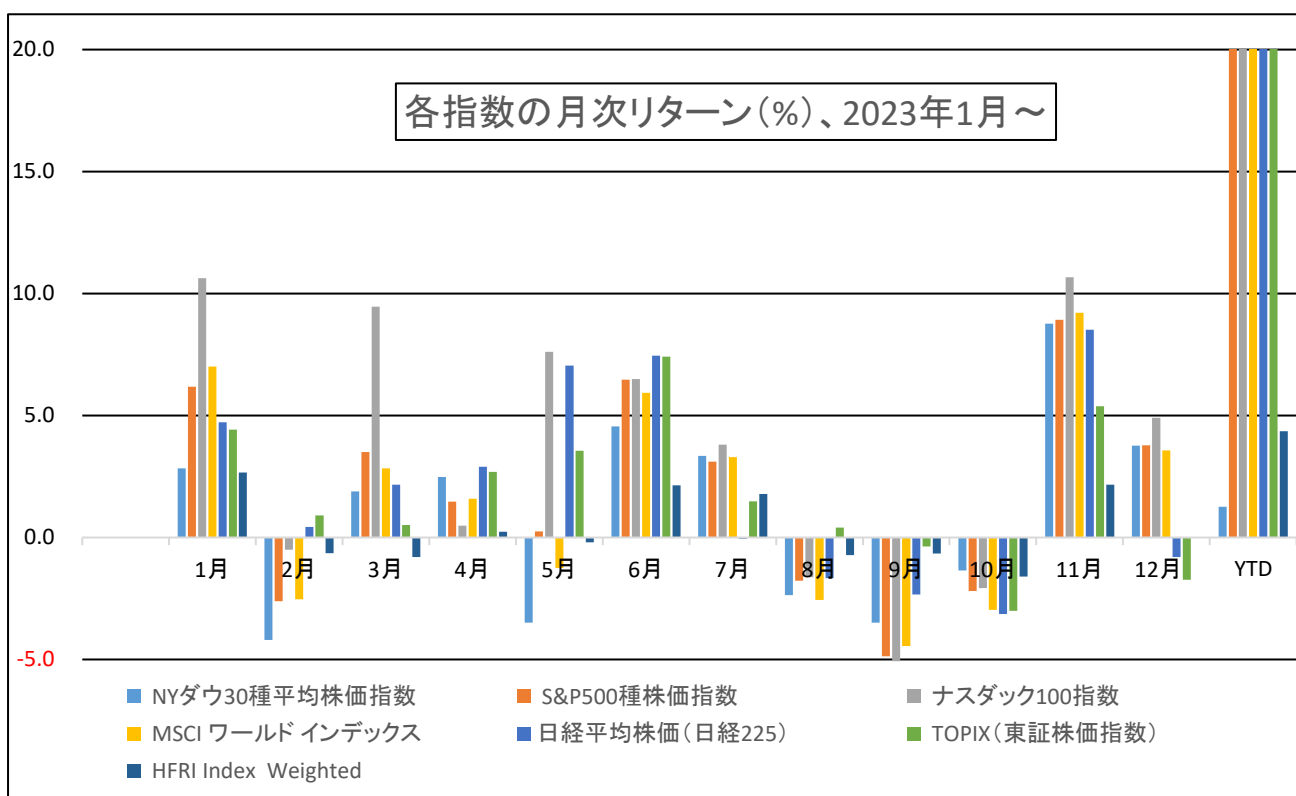


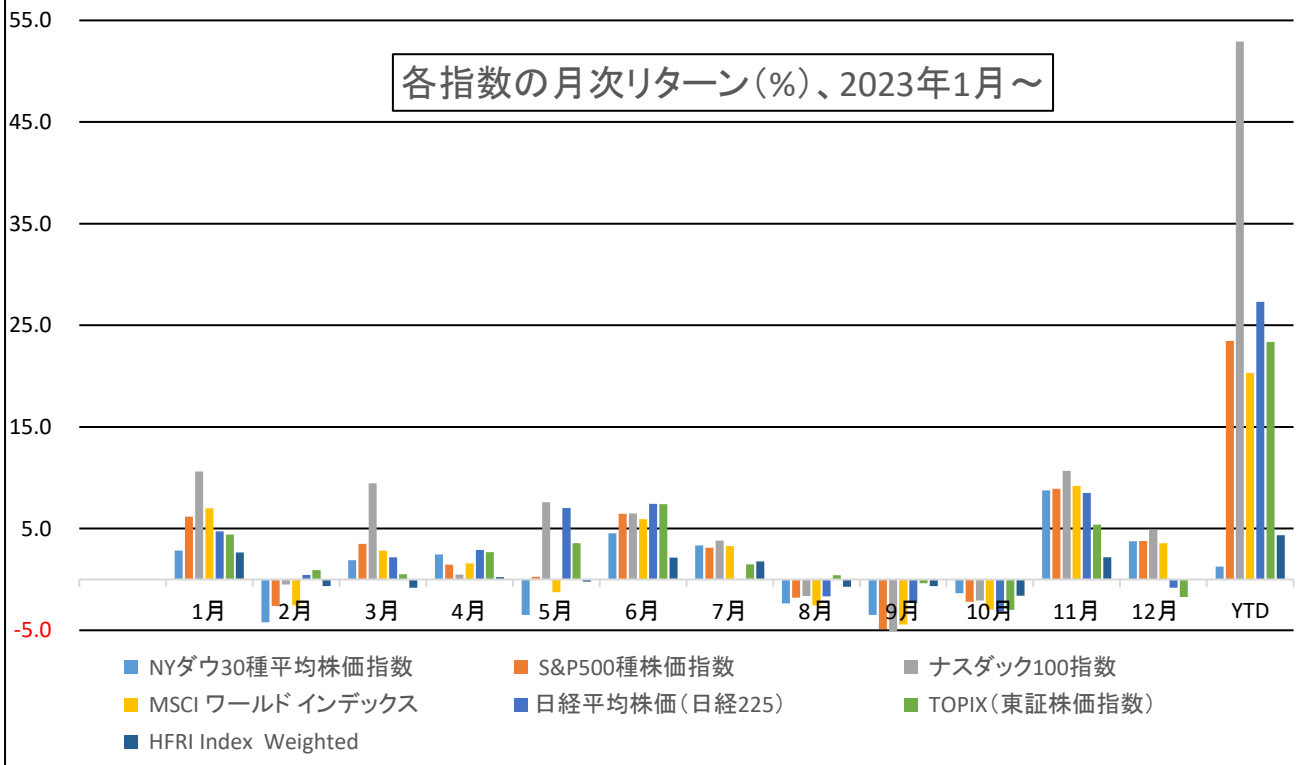
この月報は2023年11月のものなのですが、以下の表とグラフ、及び総論は、この原稿執筆時の2023年12月20日時点でのものになります。

2023年 (%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	YTD
NYダウ30種平均株価指数	2.8	-4.2	1.9	2.5	-3.5	4.6	3.3	-2.4	-3.5	-1.4	8.8	3.8	1.3
S&P500種株価指数	6.2	-2.6	3.5	1.5	0.2	6.5	3.1	-1.8	-4.9	-2.2	8.9	3.8	23.5
ナスダック100指数	10.6	-0.5	9.5	0.5	7.6	6.5	3.8	-1.6	-5.1	-2.1	10.7	4.9	52.9
MSCI ワールド インデックス	7.0	-2.5	2.8	1.6	-1.2	5.9	3.3	-2.6	-4.4	-3.0	9.2	3.6	20.3
日経平均株価(日経225)	4.7	0.4	2.2	2.9	7.0	7.5	-0.1	-1.7	-2.3	-3.1	8.5	-0.8	27.3
TOPIX(東証株価指数)	4.4	0.9	0.5	2.7	3.6	7.4	1.5	0.4	-0.4	-3.0	5.4	-1.7	23.4
HFRI Index Fund of Funds	2.02	-0.58	-0.72	0.28	0.06	1.18	1.11	-0.14	-0.43	-1.06	1.84		3.61
HFRI Index Weighted	2.66	-0.64	-0.80	0.24	-0.20	2.14	1.78	-0.72	-0.65	-1.60	2.17		4.35



注：上記表とグラフは、公表されている資料から、エアーズシー証券が作成したものです。2023年12月の数字は、2023年12月20日までのもの、もしくは速報値になります。また、以下のコメントは、運用会社アンタークティカ社より共有されたレポートを基に、エアーズシー証券が作成したものです。信頼できる情報に基づき作成をしておりますが、含まれる情報の正確性や完全性、また使用された市場情報源の正確性や信頼性を保証するものではありませんし、将来の実績を保証または示唆するものでもありません。エアーズシー証券は、当資料の分析、又はこれに関連した分析の使用により生じた如何なる損失にも責任を負いません。エアーズシー証券の許諾なしに、当資料の一部又は全部を引用または複製することを禁じます。

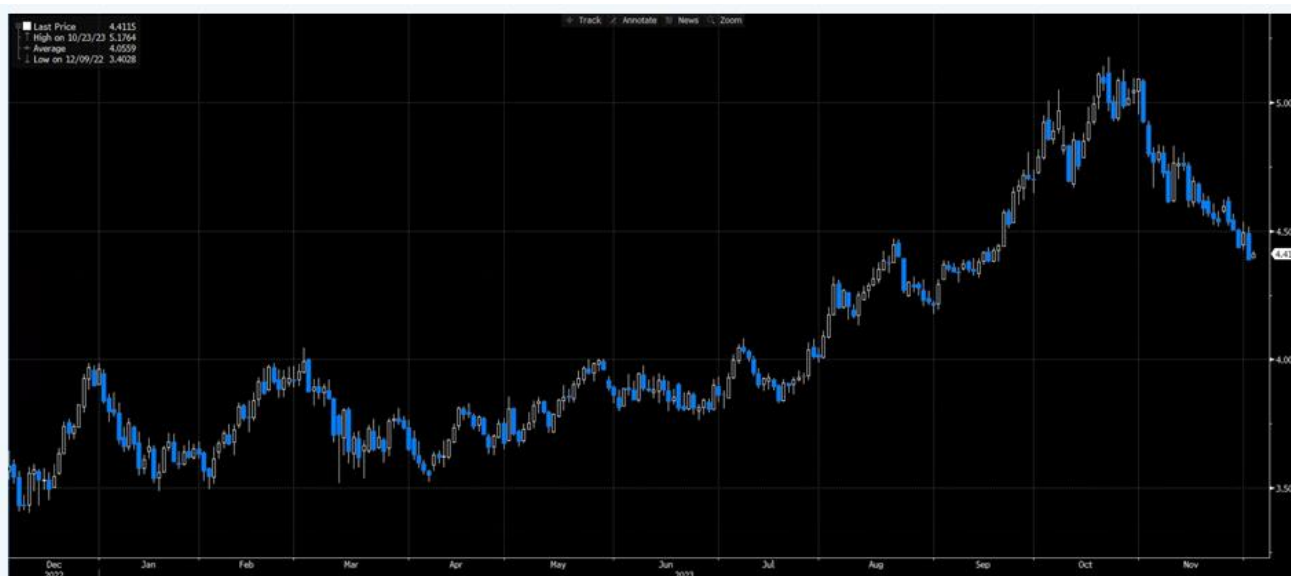
各指数の月次リターン(%)、2023年1月～



2023年11月月報の総論として、2023年11月の市場をまとめました。

11月は、金利が緩和され、他の資産クラスにも広がる、典型的な金融状況の緩和が特徴でした。デイスインフレーションの織り込みが進み、特に米国CPIが低調だった後、月末には何年ぶりかでヨーロッパのコアインフレがマイナスの月次「成長」となりました。ヨーロッパはデイスインフレだけでなく、実際にデフレしている状態でした。インフレの予想は世界的に急激に低下し、資金流入によって示されるように、資産の波と波があり、ほぼすべての資産で価格とリターンが向上しました。米国の30年債利回りは-60ベーシスポイント下落しましたが、利回り曲線はこの期間の動きから比較的影響を受けにくく、2年と30年の金利差は再びマイナスに転じ、月間で-19ベーシスポイントでした。株式はSPXとNDXがそれぞれ8.92%および10.67%上昇し、クレジットは米国のハイ・イールド債が4.55%上昇し、通貨としてUSDは2.97%弱化しました。

図1: 米国30年債利回り (2022年12月から2023年12月)

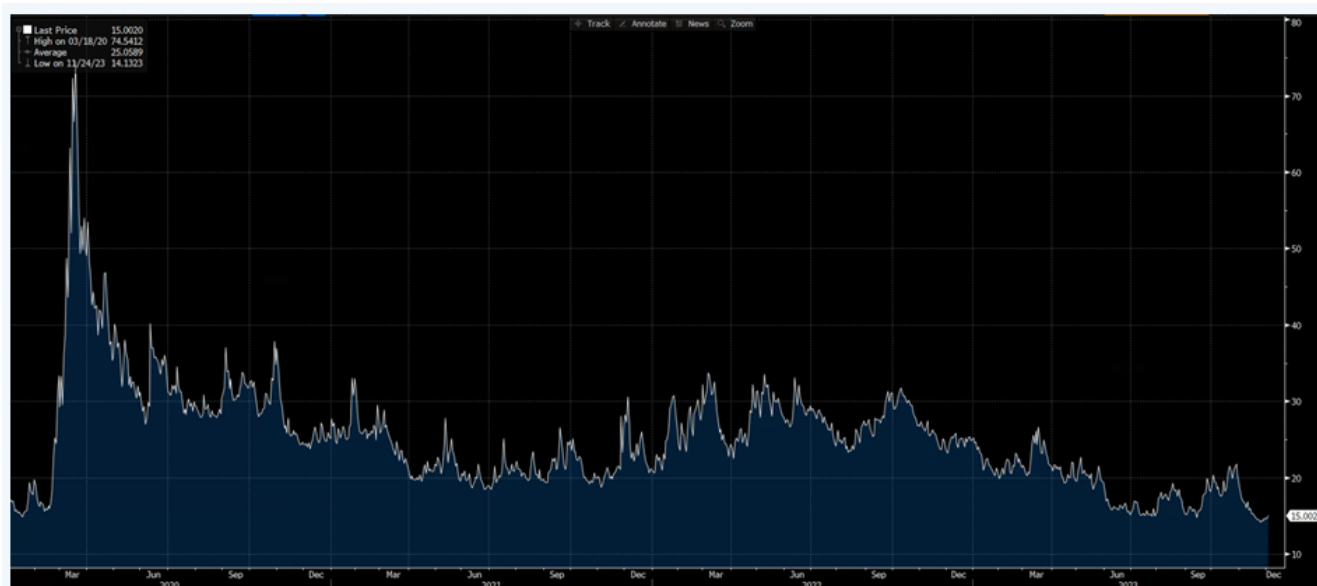


出典：運用会社 12月4日

逆に、株式のボラティリティは、全般的に低下しました。保護のコストは、SPX の 25 デルタ 3 ヶ月プットのボラティリティ^注で示されるように、感謝祭の時点で新型コロナウイルス（COVID）後の最低水準である 14.13 に達し、その後わずかに月末に向けてわずかに回復しました。

注：「SPX の 25 デルタ 3 ヶ月プットのボラティリティ」とは、S&P 500 指数（SPX）のオプションにおいて、現在の株価から見て 25 デルタ（オプションがイン・ザ・マネーになる確率が 25%）の、未来の 3 ヶ月の期間にわたるプットオプションのボラティリティを指します。この値は、市場参加者が将来の株価変動に対する期待や不安を示す指標となります。文中では、感謝祭の時点でこのオプションのボラティリティが 14.13 となり、その後わずかに回復したことが述べられています。

図 2: SPX 3 ヶ月 25 デルタプット (2020 年 1 月から 2023 年 12 月)



出典：運用会社 12月4日

情報ソース、及び注意事項：

アンタラクティカ社、HFR ホームページ、ブルームバーグ、日経新聞、トムソン・ロイター、ウォール・ストリート・ジャーナル、リフィニティブ、QUICK などのソーシャルメディア、ウェブサイトの信頼できる情報に基づき、本資料を作成しておりますが、含まれる情報の正確性や完全性、また使用された市場情報源の正確性や信頼性を保障するものではありません。また、本株式の過去の運用実績に関する分析の提供は、将来の運用成績を示し保障するものではありません。エアーズシー証券株式会社は、当資料の分析、又はこれに関連した分析の使用により生じたいかなる損失にも責任を負いません。エアーズシー証券株式会社の許諾なしに、当資料の一部又は全部を引用または複製することを禁じます。